



日本在宅看護学会第14回学術集会 プログラム集



ケアの名は。

君の前前前世からNSは〜♪
多様なケアをし始めたよ〜♪

「多様性がインフィニティ∞在宅看護」

2024.11.16(土)-17(日)

集会長 **岩本大希** / WyL株式会社 / ウィル訪問看護ステーション 代表取締役
開催場所 「クロス・ウェーブ船橋」 / 開催形式 現地開催+オンデマンド配信

地域包括ケアの新しいアプローチ

明日受け入れてくれる
訪問看護を探したい

訪問看護ステーション 探しをもっと簡単に。

けあログっと

carelogood



退院後のケア調整を
スムーズに

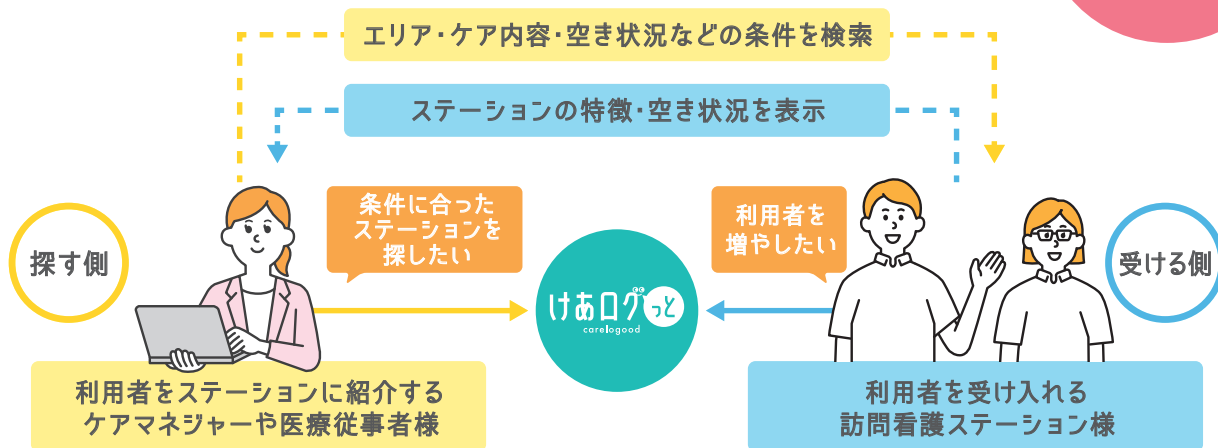
地域の訪問看護ステーションを
素早く検索

リアルタイムで
訪問看護の
空き状況をチェック

けあログっと carelogood とは？

急な訪問看護の必要がある場合でも、すぐに検索でき、
条件に合ったステーションを効率よく見つけられるサービスです。

探す側も
受ける側も
¥0



探す側のメリット

条件に合ったステーションがスムーズに見つかる

希望の時間や曜日、ケアの内容など条件に合ったステーションが簡単に検索できる

スマホ・PCからOK! 問い合わせもスムーズ

けあログっと内のチャットで簡単にやり取りができる

受ける側のメリット

営業に活用! ステーション専用ページを作成

ステーションの強みや特徴なども記載できる

空き状況を表示でき訪問調整が簡単!

iBowの情報から空き状況を自動で反映できる



株式会社eWeLL(イーウェル)

[本社] 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪御堂筋ビル 13F

けあログっとのお問い合わせは専用サイトまたはQRコードから

<https://carelogood.jp/>



目 次

ご挨拶	2
日程表	3
会場アクセス	7
フロアマップ	8
参加者へのご案内	9
演者・座長へのご案内	11
主要演題一覧	14
一般演題一覧	22
オンデマンドセミナー	31

多様性と在宅看護

□講師

岩本 大希 (WyL株式会社/ウィルホールディングス株式会社 代表取締役)



はじめに、2024年1月の能登半島地震にて被災されました皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また被災地での復興支援および現地でのケア等現場におられる皆様に感謝を申し上げます。

テクノロジーの進化や価値観の多様化、戦争や災害など社会不安、家族やコミュニティの形の変化、人口減少や言語の壁など、私たちの日頃の生活においても全く画一的でない時代に突入しています。日々の生活を営む中で病や障害などをもちながら「家で暮らしたい方」「家に帰りたい方」へのケアの在り方も多様に進化していく機会となっています。

本学術集会では、「多様性」をテーマに、様々な切り口の企画を用意し在宅看護に関する新たな実践・研究など学びの機会となることを目指しています。

また、企画および一般演題のポスターをオンライン公開・オンデマンド配信、オンライン限定企画のセミナー配信も行い、遠方におられる皆様にも多様な学びの機会となるよう開催させていただきます。

ぜひ皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日程表 11月16日(土)

第1日目 11月16日(土)		
	A会場(講堂)	B会場(大研修室B112)
10:00	9:50~10:00 開会式	
10:30	10:00~11:30 シンポジウム1 栄養は全てに通ずる：これからの多様な食支援の実践	10:00~11:30 シンポジウム2 報酬改訂が向かい風でも在宅のリハは重要だ！ ：これからの時代の在宅リハビリテーション
11:30	11:30~11:50 学術集会長講演 多様性と在宅看護	休憩(30分)
12:00		12:00~13:00 ランチョンセミナー1 <small>共催 富士フィルムメディカル株式会社/株式会社オークネット/インフィック株式会社</small> あけぼの訪問看護ステーション4拠点でのiViz airの導入と活用の実際 排泄エコーのポイントを画像を見せながら教えます！
13:00		休憩(20分)
13:30	13:20~14:50 教育講演1 発達障害のある(かもしれない) 看護職の理解と支援	13:20~14:50 シンポジウム3 既存の制度からはみ出たニーズを拾え！ これからのみ出しケア
15:00	休憩(10分)	休憩(10分)
15:30	15:00~16:50 市民公開講座 看護のやさしい日本語 ～命を守る言葉として～	15:00~16:30 シンポジウム4 小児在宅実践の多様性
16:30		
17:00		

第1日目 11月16日(土)

	C会場 (大研修室A221)	D会場 (中研修室B211)	E会場 (中研修室B212)
10:00			
10:30			
11:00			10:40~11:30 一般演題 1 訪問看護師役割・技術
11:30			
12:00	12:00~13:00 ランチョンセミナー2 <small>共催 株式会社ゼスト</small>		
12:30	業界初！地域連携をDXして ステーションの持続的成長を 実現する		
13:00			
13:30	13:20~14:20 交流集会 2 これからの日本の「地域」に 必要な「居場所」とは ～訪問看護を通じて気づいたこと～	13:20~14:20 交流集会 1 見直しませんか「座りケア」 ー在宅看護における座位姿勢と 移乗動作のアセスメントー	13:20~14:20 一般演題 2 意思決定支援・地域サービス
14:00			
14:30			休憩 (10分)
15:00	14:30~15:30 交流集会12 訪問看護ビジネスの 問題を考える ー最近の報道を受けてー		14:30~15:40 一般演題 3 終末期支援
15:30			
16:00		15:40~16:40 交流集会 3 病院から訪問看護サービスへ 「看護がつなぐ」	休憩 (10分)
16:30			15:50~17:00 一般演題4 在宅高齢者・認知症ケア
17:00			

日程表 11月17日(日)

第2日目 11月17日(日)		
	A会場(講堂)	B会場(大研修室B112)
9:00	9:00~10:30	9:00~10:30
9:30	教育講演2 患者の意思決定にどう関わるか?	シンポジウム5 プラチナナースたちから学ぶこれからの看護師人生
10:00		
10:30	休憩(10分)	休憩(10分)
	10:40~12:10	10:40~12:10
11:00	学術集会企画 能登半島地震での活動 : DC-CATの立ち上げから 現在までを通して	シンポジウム6 特定行為を在宅看護に活かす~現状と展望~
11:30		
12:00		
12:30	休憩(20分)	休憩(20分)
	12:30~13:30	12:30~13:30
13:00	ランチョンセミナー3 <small>共催 ヲェクソンインターナショナル株式会社</small> これからの訪問看護教育を考える ~臨床と教育の現場から~	ランチョンセミナー4 <small>共催 帝人株式会社</small> 人が最期まで豊かに生きるために 訪問看護で出来ること
13:30	休憩(20分)	休憩(20分)
	13:50~15:20	13:50~15:20
14:00	シンポジウム7 精神科領域における在宅看護の可能性を 多様な視点から考える	シンポジウム8 多様なニーズを支える中堅スタッフへの教育支援 ~これからの必要な生涯学習支援~
14:30		
15:00		
15:30	15:20 閉会式	
16:00		

第2日目 11月17日(日)

	C会場 (大研修室A221)	D会場 (中研修室B211)	E会場 (中研修室B212)
9:00	9:00~10:00	9:00~10:00	9:00~10:10
9:30	交流集会4 在宅看護のシミュレーション教育の 可能性を考えてみませんか？	交流集会5 日本語版オマハシステムを 活用した在宅看護の実践と 評価の可視化	一般演題5 精神科ケア・難病療養者支援
10:00	休憩 (10分)	休憩 (10分)	休憩 (10分)
10:30	10:10~11:10	10:10~11:10	10:10~11:00
11:00	交流集会6 訪問看護の質を保証・ 向上するシステムづくり： みんなでとりくみませんか？	交流集会7 看護師視点のものづくり ～在宅医療現場での看護師の案 を商品化する～	一般演題6 退院支援・多職種協働
	休憩 (10分)	休憩 (10分)	休憩 (10分)
11:30	11:20~12:20	11:20~12:20	11:10~11:40
12:00	交流集会8 医療的ケア児の地域生活を支える 多職種連携-職種の垣根を 超えて今こそ語り合おうー	交流集会9 新卒・新任看護師が育つ ステーションとは～『振り返り』 ってどうしていますか？～	一般演題7 人材確保・人材育成
12:30			
13:00			
13:30			
14:00	13:40~14:40	13:40~14:40	13:40~14:50
14:30	交流集会10 訪問看護のハラスメントの 実態と対策に関して	交流集会11 在宅における栄養管理の インフィニティ (∞)	一般演題8 その他
15:00			
15:30			
16:00			

会場アクセス

(1) 会場

クロス・ウェーブ船橋（〒273-0005 千葉県船橋市本町 2-9-3）

JR 総武線「船橋」駅から徒歩約 9 分

東武アーバンパークライン（野田線）「船橋」駅から徒歩約 9 分

京成本線「京成船橋」駅から徒歩約 7 分

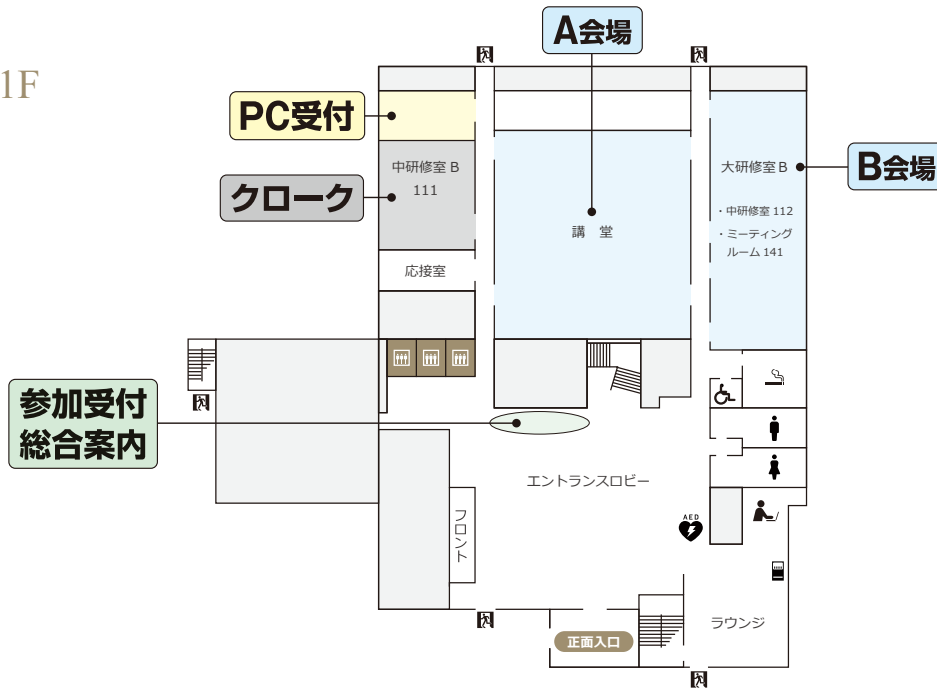
(2) 会場までのアクセス



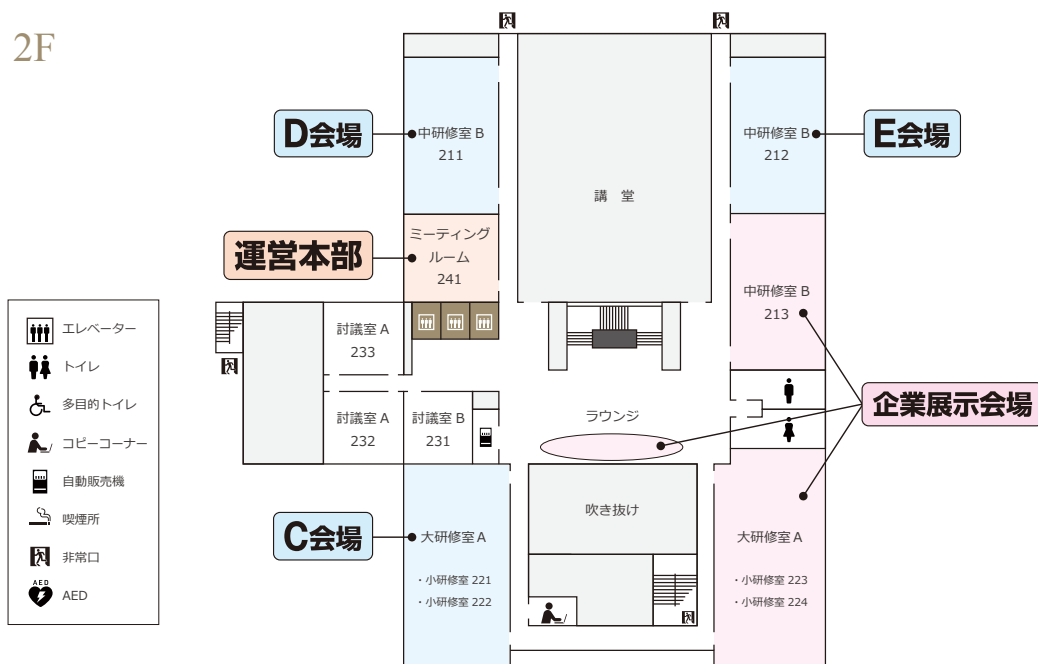
FLOOR MAP フロアマップ

セミナーハウス クロス・ウェーブ 船橋

1F



2F



参加者へのご案内

開催方法

本学術集会は、現地開催及びオンデマンド配信（現地開催プログラムは11月20日頃配信開始予定）にて開催いたします。ライブ配信はありません。

会期

■現地開催

2024年11月16日(土)9:50~17:00

11月17日(日)9:00~16:00

■オンデマンド配信

2024年11月16日(土)9:00~12月17日(土)17:00

（現地開催プログラムは、11月20日頃配信開始予定）

※現地開催のみのプログラム

下記のプログラムは現地開催のみとなります。オンデマンド配信、ライブ配信はありません。

一般演題（口頭発表）の資料のみオンデマンド配信いたします。

- ・ランチョンセミナー
- ・交流集会
- ・一般演題（口頭発表）

※オンデマンド配信のみのプログラム

下記のプログラムはオンデマンド配信のみとなります。

- ・一般演題（ポスター発表）
- ・オンデマンドセミナー

■総合受付・参加受付

設置場所：クロスウェーブ船橋 1階ロビー

受付時間：11月16日（土）9:30～17:00

11月17日（日）8:30～15:30

■受付方法

本学術集会に参加される方は、必ず事前にウェブサイトよりオンライン参加登録手続きをしてください。当日、現地での現金での参加費のお支払いはできません。必ずオンライン参加登録をお願いいたします。

会場では、1階参加受付にてお名前を確認の上、ネームカードと名札ケースをお渡しいたします。

記名台にてネームカードに必要事項を記入し、名札ケースに入れてご着用ください。

■クローク ※貴重品・PC等はお預かりできません。

設置場所：1階中研修室 B111

受付時間：11月16日（土）9：30～17：30

11月17日（日）8：30～16：00

■昼食

ランチョンセミナーで配布される食事を除き、会場内への食べ物の持ち込みは禁止です。

特に11月16日のランチョンセミナーの数は少なくなっております。近隣の飲食店をご利用ください。

■企業展示

11月16日（土）10：00～17：00

11月17日（日）9：00～15：00

場所：

2階ロビー，2階大研修室 A(223+224)，2階中研修室 B(213)にて企業展示をいたします。
ぜひお立ち寄りください。

■うら在宅看護学会学術飲み会

日時：2024年11月16日（土） 学会1日目終了後

場所：クロスウェーブ船橋レストラン会場

参加対象：日本在宅看護学会第14回学術集会に参加している方

参加費：3,000円

■託児室

お子さんを同伴される参加者向けに、学会期間中に託児室を設けます。

授乳スペース、ケアスペースとしてもお使いいただけます

ご希望の方は学術集会ウェブサイトよりお申し込みください。

■参加証・領収書・抄録集

参加証・領収書・抄録集は、オンデマンド配信期間2024年11月16日9：00～11月30日17：00の間、オンデマンド配信ページにログインしていただいた後、ダウンロードいただけます。なお、オンデマンド配信期間を過ぎるとログインできなくなり、ダウンロードができなくなりますので、必ず期間内にダウンロードしてください。

■オンデマンド配信ログインID・パスワード

オンデマンド配信ページへのログインID・パスワードは、参加登録時に登録されたメールアドレス宛にお送りしております。お知らせメールに記載しているID・パスワードはなくさないようご注意ください。再発行はお受けいたしかねます。

演者・座長へのご案内

1. シンポジウム，教育講演，一般口演座長の方へ

ご担当のセッション開始 20 分前までに，各会場前方右側の次座長席までお越しください。

2. シンポジウム，教育講演等の演者の方へ

■発表データの準備

・当日に会場に設置される機材

《OS》Windows10

《アプリケーションソフト》Microsoft PowerPoint2019

発表者ツールは使用できません。

・確認したデータを USB フラッシュメモリにてご持参ください。

文字フォントは，OS に設定されている標準的なフォントを推奨いたします。

・解像度は Full HD (1920×1080)，画面の比率は 16：9 です。

Power Point に貼り付けている動画は mp4 形式を推奨いたします。

念の為，PowerPoint データとともに動画ファイルも必ずご持参ください。

・動画を使用の場合，バックアップ用としてご自身のノートパソコンを必ずご持参ください。プレゼンテーションにほかのデータ（静止画・動画・グラフなど）をリンクされている場合でも元のデータを保存していただき，必ず事前にほかのパソコンでの動作確認をお願いいたします。

発表時は，発表者ご自身で演台に設置してあるモニターを見ながらキーボードもしくはマウスで操作してください。

・発表者ツールは使用できません。

また，ご自身の PC を演台に上げての発表もできません。

原稿が必要な方は，予めプリントアウトしたものをご持参ください。会場ではプリントアウトできません。

・データは学術集会終了後，運営事務局が責任をもって消去いたします。

○PC をご持参される方

・バッテリー切れ防止のため，電源（AC）アダプターを必ずご持参ください。

・ご自身の PC の外部モニターに出力する端子の形状を必ず確認し，必要な場合は接続用の外部出力変換アダプターを必ずご持参ください。接続は HDMI，USBtype-A です。専用の変換アダプターが必要な場合はご持参ください。

・万一のトラブルに備え，ご自身の PC に保存されている重要なデータはバックアップをお取りください。

・発表中にスクリーンセーバーに切り替わったり省電力機能で電源がきれたりしないよう、PC 本体の設定をお願いいたします。

■発表データの登録

・セッション開始 30 分前までに、PC 受付にて発表データの登録・確認を行ってください。PC 受付でのチェック終了後、会場内の「次演者席」へ 15 分前までにお越しください。

・演台上には、モニター、キーボード、マウスを用意いたします。演台上に上がると最初のスライドが表示されますので、その後の操作は各自で行ってください。演台上にはレーザーポインターはございませんので、スライドを示す際は、マウスカソールをご使用願います。

<発表データ受付時間>

11月16日(土) 9:30~15:30

11月17日(日) 8:30~14:00

受付場所：1階中研修室 B111 の奥側（手前側はクロークとなっております）

■利益相反（COI）の申告

・日本在宅看護学会第 14 回学術集会では、筆頭発表者の利益相反の開示が必要です。利益相反の有無にかかわらず、全ての筆頭発表者にご開示いただく必要がございますので、よろしく願います。スライド 1 ページ目に演題名と研究者名（発表者は先頭に記載し、氏名の前に○をつける）、所属等を記載し、スライド 2 ページ目に利益相反の開示を記載してください。

・利益相反開示のスライドフォーマットは、以下のものを参考にしてください。

3.一般演題発表者の方へ

■発表時間および発表形式

・本学術集会の一般演題は、口頭発表、ポスター発表ともに事前にデータ登録をしていただきます。

・PowerPoint にて発表資料を作成していただき、登録してください。

■利益相反（COI）の申告

・日本在宅看護学会第 14 回学術集会では、筆頭発表者の利益相反の開示が必要です。利益相反の有無にかかわらず、全ての筆頭発表者にご開示いただく必要がございますので、よろしく願います。スライド 1 ページ目に演題名と研究者名（発表者は先頭に記載し、氏名の前に○をつける）、所属等を記載し、スライド 2 ページ目に利益相反の開示を記載してください。

・利益相反開示のスライドフォーマットは、ウェブサイトに掲載しているものを参考にしてください。

■ポスター発表

・ポスター発表は、事前に登録されたデータをオンデマンド期間に掲載する形で行います。

・当日の登壇時間はありません。また、データ登録期間を過ぎたの修正はできません。データ（口演発表と同じ PowerPoint のスライド形式）の登録方法はメールにて送らせていただいた物をご確認ください。

・スライド合計枚数はタイトル、COI 自己申告を含み、10 枚以内とします。

■口頭発表

・発表 7 分＋質疑応答 3 分の計 10 分です。座長の指示に従い時間厳守で発表を行ってください。

・現地での発表のみとなります。

・発表データは、会期中特設 Web サイトにて掲載します。

○発表データの準備・登録

・口演発表の場合もポスター発表と同じく事前にご登録いただいたデータを用いて発表を行います。当日のデータ受付は不要であり、修正、差し替えはできません。データ（口演発表と同じ PowerPoint のスライド形式）の登録方法はメールにて送らせていただいた物をご確認ください。

・スライド合計枚数はタイトル、COI 自己申告を含み 10 枚以内とします。

主要演題一覧

【11月16日(土) A会場(講堂)】

10:00~11:30

シンポジウム1

栄養は全てに通ずる：これからの多様な食支援の実践

□シンポジスト

五島 朋幸 (ふれあい歯科ごとう)

白坂 誉子 (ういず・ユー白ゆり訪問看護ステーション)

鈴木 瑞恵 (大和大学保健医療学部)

□座長

石田 千絵 (日本赤十字看護大学看護学部)

11:30~11:50

集会長講演

多様性と在宅看護

□演者

岩本 大希 (WyL 株式会社/ウィルホールディングス株式会社 代表取締役)

13:20~14:50

教育講演1

発達障害のある(かもしれない)看護職の理解と支援

□講師

川上 ちひろ (岐阜大学医学教育開発研究センター)

□座長

鹿内 あずさ (北海道文教大学 人間科学部 看護学科)

15:00~16:50

市民公開講座

看護のやさしい日本語 ~命を守る言葉として~

□講師

老邑 敬子 (一般社団法人チームやさしい日本語)

主要演題一覧

【11月16日(土) B会場 (大研修室 B112)】

10:00~11:30 シンポジウム2

報酬改訂が向かい風でも在宅のリハは重要だ！

：これからの時代の在宅リハビリテーション

□シンポジスト

張本 浩平 (株式会社 gene)

内藤 麻生 (日本訪問リハビリテーション協会理事 (株) ハナミズキ 訪問看護ステーションつぼみ)

糟谷 明範 (株式会社シンクハピネス/一般社団法人 CancerX 共同代表理事)

□座長

高砂 裕子 (全国訪問看護事業協会 副会長)

12:00~13:00 ランチョンセミナー1

共催：富士フィルムメディカル株式会社/株式会社オークネット/インフィック株式会社

□演者

排泄エコーのポイントを画像を見せながら教えます！

藪中 幸一 (大野記念病院 超音波センター長)

あけぼの訪問看護ステーション4拠点でのiViz airの導入と活用の実際

神野 真紀 (ケアゲート株式会社あけぼの訪問看護ステーション統括管理者)

□座長

藪中 幸一 (大野記念病院 超音波センター長)

13:20~14:50 シンポジウム3

既存の制度からはみ出たニーズを拾え！これからのほみ出しケア

□シンポジスト

関口 優樹 (医療法人かがやき)

菊池 郁希 (医療法人社団オレンジ)

山内 ももこ (株式会社 ぐるんとびー)

三枝 春香 (株式会社 CNC CRO/コミュニティナース)

□座長

吉江 悟 (一般社団法人 Neighborhood Care)

かんごちゃん (「看護の日」キャラクター)

**15:00~16:30 シンポジウム4
小児在宅実践の多様性**

□シンポジスト

津村 明美 (認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト)
萩元 聡子 (ファミリーケアステーションつなぐ)
梶原 厚子 ((株) スペースなる代表 Tama ステーションなる訪問看護事業)
澤野 由佳 (7 i r i s e r 株式会社 しずく訪問看護ステーション)

□座長

西垣 佳織 (聖路加国際大学大学院看護学研究科小児看護学分野)

主要演題一覧

【11月16日(土) C会場 (大研修室 A221)】

12:00~13:00 ランチョンセミナー2

共催：株式会社ゼスト

業界初！地域連携を DX してステーションの持続的成長を実現する

□演者

丸田 雄貴 (株式会社ゼスト執行役員 CMO)

□座長

坪田 康佑 (国際医療福祉大学保健医療学博士課程
一般社団法人日本男性看護師協会 理事)

13:20~14:20 交流集会2

**これからの日本の「地域」に必要な「居場所」とは
～訪問看護を通じて気づいたこと～**

□企画者

別府 文隆 (ウィル訪問看護ステーションよこはま北山田)

14:30~15:30 交流集会12

訪問看護ビジネスの問題を考えるー最近の報道を受けてー

□企画者

山田 雅子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)
高砂 裕子 (全国訪問看護事業協会)

□コメンテーター

平原 優美 (日本訪問看護財団 常務理事)
中島 朋子 (全国訪問看護事業協会 常務理事)
市川 亨 (共同通信 特別報道室・編集委員)

主要演題一覧

【11月16日(土) D会場(中研修室 B211)】

13:20~14:20

交流集会1

見直しませんか「座りケア」

—在宅看護における座位姿勢と移乗動作のアセスメント—

□企画者

山田 雅子(聖路加国際大学大学院看護学研究科)

吉川 和徳(一般社団法人 福祉用具活用相談センター)

15:40~16:40

交流集会3

病院から訪問看護サービスへ「看護がつなく」

□企画者

佐藤 直子(西武文理大学看護学部)

大場 紅莉(政策研究大学院大学修士課程)

柴田 三奈子(株式会社ラピオン)

水野 伊津子(社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会神奈川県病院)

松永 早苗(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学研究科)

□座長

石原 美和(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学研究科)

主要演題一覧

【11月17日(日) A会場(講堂)】

9:00~10:30

教育講演2

患者の意思決定にどう関わるか?

□講師

尾藤 誠司(医療法人財団慈生会 野村病院)

□座長

平原 優美(公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事)

10:40~12:10

学術集会企画 令和6年度能登半島地震:

助かったいのち、その先の“生きる”を支える活動とは

□講師

山岸 暁美(一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 理事長 / 機構長
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

□座長

岩本 大希(WyL株式会社/ウィルホールディングス株式会社代表取締役)

12:30~13:30 ランチョンセミナー3

共催：ヴェクソンインターナショナル株式会社

これからの訪問看護教育を考える～臨床と教育の現場から～

□演者

大串 優太 (株式会社 FOOTAGE 代表)

出口 貴大 (のぞみ医療株式会社 COO)

□座長

鍋島 純世 (金城学院大学 看護学部 看護学科)

13:50~15:20 シンポジウム7

精神科領域における在宅看護の可能性を多様な視点から考える

□シンポジスト

堤 真紀 (訪問看護ステーションみのり)

校條 文 (訪問看護ステーションナンナル)

小松 容子 (宮城大学)

加藤 伸輔 (ピアサポートグループ在)

□座長

萱間 真美 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター国立看護大学校)

小瀬古 伸幸 (訪問看護ステーションみのり統括所長)

主要演題一覧

【11月17日(日) B会場 (大研修室 B112)】

9:00~10:30 シンポジウム5

プラチナナースたちから学ぶこれからの看護師人生

□シンポジスト

伊藤 清子 (認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト 理事)

徳江 幸代 (株式会社けせら 訪問看護ステーションけせら)

濱田 安岐子 (NPO 法人看護職キャリアサポート／

株式会社はたらく幸せ研究所)

中村 智子 (公益社団法人東京都看護協会 東京都ナースプラザ)

□座長

阿部 智子 (訪問看護ステーションけせら)

10:40~12:10

シンポジウム6

特定行為を在宅看護に活かす～現状と展望～

□シンポジスト

田中 隆司（ソフィアメディ訪問看護ステーション小竹向原）

勝部 猛彦（社会福祉法人 寿光会 理事長）

橋 朋絵（ゆみのハートクリニック）

中山 法子（糖尿病ケアサポートオフィス）

□座長

溝上 祐子（東京医療保健大学大学院医療保健学研究科プライマリケア看護学）

12:30~13:30

ランチョンセミナー4

共催：帝人株式会社

人が最期まで豊かに生きるために訪問看護で出来ること

□講師

長嶺 由衣子（東京医科歯科大学公衆衛生学非常勤講師）

□座長

山本 則子（東京大学大学院医学系研究科 教授）

13:50~15:20

シンポジウム8

多様なニーズを支える中堅スタッフへの教育支援～これからの必要な生涯学習支援～

□シンポジスト兼座長

佐藤 直子（聖路加国際大学大学院看護学研究科）

□シンポジスト

佐藤 十美（セコム医療システム株式会社 訪問看護ステーション看護部）

藤野 泰平（株式会社デザインケアみんなのかりつけ訪問看護ステーション）

服部 絵美（株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション）

主要演題一覧

【11月17日(日) C会場（大研修室 A221）】

9:00~10:00

交流集会4

在宅看護のシミュレーション教育の可能性を考えてみませんか？

□企画者

織井 優貴子（常磐大学大学院看護学研究科，

東京都立大学大学院人間健康科学研究科）

竹森 志穂（東京都立大学大学院人間健康科学研究科）

金 壽子（東京都立大学大学院人間健康科学研究科）

10:10~11:10

交流集会6

訪問看護の質を保証・向上するシステムづくり

: みんなでとりくみませんか?

□企画者

山本 則子 (東京大学大学院医学系研究科)

角川 由香 (東京大学大学院医学系研究科)

野口 麻衣子 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)

沼田 華子 (東京大学大学院医学系研究科)

前田 明里 (東京大学大学院医学系研究科)

山本 なつ紀 (慶應義塾大学看護医療学部)

11:20~12:20

交流集会8

医療的ケア児の地域生活を支える多職種連携

— 職種の垣根を超えて今こそ語り合おう —

□企画者

一瀬 マユミ (こどもヘルパーりんりん代表管理者)

辻 好恵 (アップルハート久留米相談支援センター管理者)

益子 郁子 (栃木県医療的ケア児等支援センターくくるん 副センター長)

□座長

渡邊 理恵 (久留米大学医学部看護学科)

13:40~14:40

交流集会10

訪問看護のハラスメントの実態と対策に関して

□企画者

坪田 康佑 (国際医療福祉大学)

池田 智 (第一薬科大学 看護学部看護学科)

矢山 壮 (関西医科大学 看護学部)

主要演題一覧

【11月17日(日) D会場 (中研修室 B211)】

9:00~10:00

交流集会5

日本語版オマハシステムを活用した在宅看護の実践と評価の可視化

□企画者

岩本 大希 (オマハシステムジャパン, ウィル訪問看護ステーション)

吉江 悟 (オマハシステムジャパン, 一般社団法人 Neighborhood Care)

藤野 泰平 (オマハシステムジャパン, みんなのかかりつけ訪問看護ステーション)

酒井 昌子 (オマハシステムジャパン, 聖隷クリストファー大学)

10:10~11:10

交流集会7

看護師視点のものづくり

～在宅医療現場での看護師の案を商品化する～

□企画者

坪田 康佑 (国際医療福祉大学)

山本 典子 (株式会社メディディア 医療デザイン研究所)

柴田 敦巨 (株式会社 michiteku 猫舌堂)³⁾

11:20~12:20

交流集会9

新卒・新任看護師が育つステーションとは

～『振り返り』ってどうしてますか?～

□企画者

山田 雅子 (聖路加国際大学)

□座長

佐藤 直子 (聖路加国際大学)

□発表者

三浦 友理子 (聖路加国際大学)

川添 高志 (ケアプロ株式会社)

阿部 智子 (全国訪問看護事業協会)

金坂 宇将 (ケアプロ在宅医療株式会社)

岡田 理沙 (ケアプロ在宅医療株式会社)

西村 恵理奈 (聖路加国際大学)

13:40~14:40

交流集会11

在宅における栄養管理のインフィニティ (∞)

□登壇者

神田 由佳 (日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科看護学専攻修士課程
看護管理学領域 (M1))

□座長

朝倉 之基 (Five Star 訪問看護・栄養管理 Station)

一般演題（口演発表） 1 訪問看護師役割・技術

座長 角田 直枝（常磐大学）

- O1-1 経管栄養から経口摂取へ移行できた事例における特定行為介入の実際と課題
○遠藤 芙美香, 北渕 未希, 田中 海斗
ウィル訪問看護ステーション江戸川
- O1-2 在宅看護における「生活モデル」導入の動機とその効果に関する文献レビュー
○榎田 恵子, 畑 吉節未
関西国際大学保健医療学部看護学科
- O1-3 発表者により取り下げられました
- O1-4 在宅終末期療養者のスピリチュアルペインに対する熟練訪問看護師のスピリチュアルケア
○横山 由起子¹⁾, 新田 紀枝²⁾, 早川 りか³⁾, 森下 和恵³⁾
1) 社会医療法人愛仁会訪問看護ステーションほほえみ, 2) 敦賀市立看護大学看護学部,
3) 武庫川女子大学看護学部
- O1-5 利用者のスタイルを守りつつ「私の人生の幕引き」を支えた訪問看護の一事例
○山下 裕美¹⁾, 竹村 直美¹⁾, 神谷 由香¹⁾, 柄澤 清美²⁾
1) 訪問看護ステーションパウ, 2) 新潟青陵大学看護学部

一般演題（口演発表） 2 意思決定支援・地域サービス

座長 青柳 道子（札幌医科大学）

- O2-1 延命希望していなかった本人への胃瘻造設について迷い揺れ続けた家族への支援
○安藤 仁子
向日葵ナースステーション
- O2-2 在宅チームの円滑な情報共有が癌末期独居高齢者の本人らしさを支えた一事例
○齋藤 あゆみ
ウィル訪問看護ステーション江東サテライト
- O2-3 高齢心不全患者の在宅療養移行における在宅看護専門看護師の ACP 支援の実態
○佐藤 歩美¹⁾, 小野 ミツ²⁾, 西村 和美²⁾
1) 楽らくサポートセンター レスピケアナース, 2) 日本赤十字九州国際看護大学

- O2-4 A看護小規模多機能型居宅介護事業所が共生型サービスの提供主体となる上での課題
○畑吉 節未
関西国際大学
- O2-5 妄想や怒りを表出する認知症高齢者への在宅療養支援～ケアリングの実践を継続して～
○井手 久仁子, 馬場 美代子, 森 歩, 吉田 美佳
看護小規模多機能型居宅介護びりーぶ
- O2-6 高齢者の歩行に影響する要因 –2年間のGPSデータと基本チェックリストを活用して–
○種市 ひろみ¹⁾, 山田 寛²⁾, 菱田 一恵¹⁾
1) 順天堂大学大学医療看護学部, 2) 東都大学幕張ヒューマンケア学部臨床工学科

一般演題（口演発表）3 終末期支援

座長 大橋 奈美（医療法人ハートフリーやすらぎ）

- O3-1 看護師の家族の看取り体験を通して感じた違和感と葛藤に関する文献検討
○田中 碧, 別府 文隆
ウィル訪問看護ステーションよこはま北山田
- O3-2 終末期患者と家族の旅行を叶える支援ユニバーサルグランピング施設と訪問看護師の挑戦
○清水 仁司^{1,2)}, 宮田 貴史^{2,1)}, 松林 大和²⁾, 山野 寛弥^{3,2)}, 宿輪 海王¹⁾
1) 陽の出訪問看護ステーション, 2) Flat Glamping Nagasaki, 3) ウィル訪問看護ステーションよこはま北山田
- O3-3 がん療養者の訪問看護終了の転帰と在宅療養支援診療所介入有無の関連
○石川 武雅, 関口 亮子, 深田 悠花, 金谷 玲子, 勝眞 久美子
ななーる訪問看護デベロップメントセンター
- O3-4 集中治療室から退院し見取りまでの4日間を過ごした事例
○泉 綾子
ウィル訪問看護ステーション
- O3-5 パニックを繰り返す腹膜がん患者の願いに沿えた訪問看護師の看取り支援
○田嶋 ひろみ, 山田 妙子
亀田総合病院
- O3-6 育児・教育期における在宅がん終末期女性患者を介護し看取った夫の経験
○高井 由美子¹⁾, 蒔田 寛子²⁾
1) 訪問看護ステーション結い, 2) 豊橋創造大学

- 03-7 終末期患者の家族が持つニーズへの介入 一体動センサーを用いた情報共有の有用性—
○内田 美智子
みよし市訪問看護ステーション

一般演題（口演発表）4 在宅高齢者・認知症ケア

座長 吉江 悟（一般社団法人 Neighborhood Care）

- 04-1 訪問看護記録システムを用いた在宅看護シミュレーション演習の検討
○菱田 一恵, 宮本 圭, 種市 ひろみ
順天堂大学医療看護学部
- 04-2 在宅高齢者の排泄を支援する住宅トイレ補助具の研究—住宅トイレ補助具試作品の検証—
○吉村 基宜, 石川 朝之, 増野 博之, 城戸 憲昌, 國澤 尚子
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科
- 04-3 訪問看護導入により認知機能低下のある高齢心不全患者の再入院を予防できた一症例
○植村 優衣^{1,2)}, 福田 敦子²⁾, 田端 支普¹⁾, 大橋 奈美¹⁾, 宮脇 郁子³⁾
1) 訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ, 2) 神戸大学大学院保健学研究科博士課程後期課程,
3) 神戸大学大学院保健学研究科
- 04-4 癌終末期超高齢者の独居生活を支える看護～高齢者の五つの側面から振り返る～
○山端 友紀, 榊田 友規子, 小西 奈津美, 内垣 靖子
JCHO 神戸中央病院附属訪問看護ステーション
- 04-5 新たな住宅トイレ補助具に関する研究 その2—在宅片麻痺者を対象とした定量的評価—
○石川 朝之, 吉村 基宜, 増野 博之, 城戸 憲昌, 國澤 尚子
ナカ工業株式会社技術研究所
- 04-6 加齢による嚥下機能低下を有する要介護高齢者の摂食・嚥下ケアを担う家族介護者の体験
○堀 由美子^{1,2)}, 佐藤 美由紀³⁾, 小林 恵子⁴⁾, 成田 太一³⁾
1) 新潟大学大学院保健学研究科博士後期課程, 2) 訪問看護ステーションみつごうや,
3) 新潟大学大学院保健学研究科看護学分野, 4) 佐久大学大学院看護学研究科
- 04-7 全国の訪問看護事業所の調査からみる医療施設・介護保険施設における排便ケアの課題
○栗田 愛¹⁾, 北川 那美²⁾, 浪切 もり子³⁾, 片山 恵³⁾, 道畑 恵利⁴⁾, 大久保 暢子⁵⁾
1) 人間環境大学, 2) みんなのかかりつけ訪問看護ステーション藤が丘, 3) 葵訪問看護ステーション,
4) 鶴ヶ島訪問看護ステーションピアラボ, 5) 聖路加国際大学

一般演題（口演発表）5 在宅高齢者・認知症ケア

座長 尾崎 章子（東北大学）

05-1 精神科訪問看護における対話的支援—職場での人間関係に悩む発達障害当事者の利用事例

○谷澤 早紀

株式会社ソシエテ

05-2 在宅生活を送る慢性疾患患者のための自己管理手帳の概観 ～精神面への看護の課題～

○服部 かおる

北海道科学大学大学院保健医療学研究科博士課程

05-3 統合失調症の息子（A氏）を見守る高齢家族が抱える老障介護問題

○久保谷 美代子¹⁾, 鶴見 三代子²⁾

1) 訪問看護ステーション TERMS, 2) 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科

05-4 家族の希望を叶える事ができた筋委縮性側索硬化症利用者の外出支援から得た成果と課題

○下地 歌織, 山川 竜一, 内間 智也, 藤本 伸子, 山川 将人

ウィル訪問看護ステーション豊見城

05-5 難病患者における訪問看護師と利用者の両側からの訪問看護のアウトカム評価

○板垣 ゆみ¹⁾, 中山 優季¹⁾, 原口 道子¹⁾, 松田 千春¹⁾, 小倉 朗子¹⁾, 小森 哲夫²⁾

1) 東京都医学総合研究所, 2) 東京医療保健大学/多摩リハビリテーション病院

05-6 神経難病療養者を担当する介護支援専門員が訪問看護師に期待すること

○佐藤 七重¹⁾, 前川 絵里子²⁾, 高林 知佳子²⁾

1) 新潟県厚生農業協同組合連合会豊栄病院, 2) 新潟県立看護大学

一般演題（口演発表）6 退院支援・多職種協働

座長 鹿内 あずさ（北海道文教大学）

06-1 訪問看護師の在宅頸髄損傷患者への排便管理の実践状況 ～退院支援の継続について

○藤枝 徳子, 吉田 健

国立障害者リハビリテーションセンター

06-2 全国の在宅医療に関わる心不全療養指導士ネットワークの設立と活動報告

○高取 幸恵¹⁾, 白川 大樹²⁾

1) ゆみの訪問看護ステーション, 2) 訪問看護ステーション立花畑

06-3 急性期病院の看護師が退院支援チェックシートを活用して行う退院支援への効果第2報

○菅野 晶奈, 前田 菜美子, 大友 智子, 福田 啓子

いわき市医療センター

06-4 医療的ケアが必要になった児の早期在宅移行を希望した家族への退院支援

○長瀬 吏沙

藤田医科大学病院看護部

06-5 地域包括ケア病棟看護師による退院支援での意思決定を支える働きかけ

○樫谷 裕太¹⁾, 安藝 千洋¹⁾, 濱田 雅予¹⁾, 乾 由美²⁾

1) 高知県立あき総合病院, 2) 高知県立大学社会福祉学部

一般演題 (口演発表) 7 人材確保・人材育成

座長 蒔田 寛子 (豊橋創造大学)

07-1 在宅・施設版介護職向け看取りケアに関するイーラーニングプログラムの有効性の検討

○沼田 華子¹⁾, 五十嵐 歩¹⁾, 角川 由香¹⁾, 高岡 茉奈美¹⁾, 前田 明里²⁾, 二宮 彩子³⁾, 高橋 幸裕⁴⁾, 渡邊 祐紀⁵⁾, 山本 則子¹⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学分野, 2) 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 地域看護学・公衆衛生看護学分野, 3) 城西国際大学 看護学部, 4) 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科, 5) 東海大学 教育開発研究センター

07-2 訪問看護と他職種連携に関する基礎的研究(1)―法制度にみる看護職の業務―

○尾崎 章子¹⁾, 酒井 美絵子²⁾, 蒔田 寛子³⁾, 川村 佐和子⁴⁾, 平林 勝政⁵⁾

1) 東北大学大学院, 2) 武蔵野大学大学院, 3) 豊橋創造大学, 4) 東京都医学総合研究所, 5) 國學院大學

07-3 訪問看護ステーションおよび介護福祉施設における特定行為修了者の継続教育の現状課題

○近藤 薫¹⁾, 松本 和史²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター, 2) 東京医療保健大学

一般演題 (口演発表) 8 その他

座長 竹森 志穂 (東京都立大学)

08-1 訪問診療移行初期の心理的不安に対するテレナーシングのサポート

○玉田 久美子

ゆみのハートクリニック

08-2 血友病中等症・軽症患者の家庭注射導入への効果的アプローチとその効果 第1報

○佐藤 知恵

東京医科大学病院

- 08-3 訪問看護利用者の栄養スクリーニングの実施の試み
○勝又 恵美
ウィル訪問看護ステーション
- 08-4 救急外来における帰宅指導の導入に向けた取り組み
○石原 舞, 下地 早苗, 太歳 修平, 宮崎 亮汰
若草第一病院
- 08-5 わが国における消費者の保険外訪問看護に対する受容価格の検討
○座光寺 佑樹
京都橘大学看護学部
- 08-6 母親との死別を経験した A 氏との関わりー希望する生活行為の獲得に至るまでー
○一色 航, 村山 奈津季, 平塚 良子
ウィル訪問看護ステーション
- 08-7 時代変化からみた訪問看護利用者数の推移の考察
○村田 加奈子¹⁾, 伊部 亜希²⁾
1) 昭和大学, 2) 敦賀市立看護大学

一般演題 (ポスター発表)

オンデマンド配信

- P01 訪問看護師がアセスメントした望ましい訪問頻度と実際の訪問頻度の差異に関連する要因
○三枝 なつみ¹⁾, 野口 麻衣子²⁾, 福井 小紀子²⁾
1) 東京医科歯科大学病院, 2) 東京医科歯科大学
- P02 A 病院訪問看護ステーションにおける点滴等の運用に関する標準化への取り組み
○中村 系子¹⁾, 久保 南²⁾
1) 広島赤十字・原爆病院訪問看護ステーション課, 2) 広島赤十字・原爆病院集中治療室
- P03 慢性腎不全とともに生きる人と家族へのエンドオブライフケア
○田中 恵里
訪問看護ステーションひまわり
- P04 終末期患者に対する輸血中止に関する倫理的問題ー臨床倫理の4分割法を用いた検討ー
○石橋 亜矢¹⁾, 高田 寿美子²⁾
1) 福山平成大学, 2) 医療法人恵会 光風台病院

- P05 訪問看護師が捉える人生の最終段階を自宅で生きる人のスピリチュアルニーズとケア
○佐々木 裕子¹⁾, 西川 まり子²⁾, 坂口 美和³⁾, 伊藤 寿英¹⁾, 小塩 泰代⁴⁾
1) 愛知医科大学看護学部, 2) 東京大学, 3) 三重大学, 4) 中部大学
- P06 最期まで愛犬と共に過ごす生活を支える～希望の場で過ごす, その先の看護～
○多田 信子
大島訪問看護ステーション江戸川営業所あかり
- P07 認知症者の就労家族介護者の離職意向と介護・仕事役割間葛藤の関連の性別による違い
○清水 恵¹⁾, 中本 五鈴^{2,1)}, 李 佳¹⁾, 蘇奴 卓瑪¹⁾, 尾崎 章子¹⁾
1) 東北大学大学院医学系研究科, 2) 東京都健康長寿医療センター研究所
- P08 地域で療養する精神疾患を有する A 氏とその家族への家族ケアに関する事例研究
○伏見 裕美子, 妹尾 紀久子
保土ヶ谷区医師会訪問看護ステーション
- P09 医療的ケア児等の家族がケアを委ねる看護職への期待とケアを引き受ける看護職の思い
○鈴木 千琴¹⁾, 門元 記子²⁾, 二田水 彩^{2,3)}, 川添 高志^{2,4)}, 村 一浩⁵⁾
1) 済生会横浜市東部病院, 2) 一般社団法人 Nurse for Nurse, 3) 東京医科大学, 4) ケアプロ株式会社,
5) 特定非営利活動法人みかんぐみ
- P10 過疎地域市町村に居住する医療的ケア児家族の災害に関する現状と課題
○渡邊 友香¹⁾, 山田 咲恵²⁾, 江本 千晴³⁾, 照井 レナ⁴⁾, 室矢 剛志⁵⁾, 加藤 千恵子⁵⁾
1) 旭川市立大学保健福祉学部, 2) 旭川医科大学医学部, 3) 東北大学大学院医学系研究科博士後期課程,
4) 日本医療大学総合福祉学部, 5) 名寄市立大学保健福祉学部
- P11 効果的な退院支援を実施するための地域スタッフとの協働に向けた課題
○青田 静代, 武井 那実, 西山 彩香
あいち小児保健医療総合センター
- P12 在宅療養する未就学の医療的ケア児に携わる医療従事者の多職種連携能力に影響する要因
○高橋 真由美^{1,2)}
1) 松蔭大学看護学部, 2) 東京福祉大学大学院社会福祉学研究所社会福祉学専攻博士課程後期
- P13 入退院支援に関連する要因の探索：オープンデータを用いた地域比較
○畑崎 華織¹⁾, 廣岡 佳代²⁾, 菅野 雄介²⁾, 福井 小紀子²⁾
1) 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野 大学院生,
2) 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野

- P14 A 病院訪問看護ステーションにおける院内認知度の実態調査
 ○今井 優美¹⁾, 中村 系子¹⁾, 岡田 美幸¹⁾, 久保 南²⁾
 1) 広島赤十字・原爆病院 訪問看護ステーション課, 2) 広島赤十字・原爆病院 集中治療室
- P15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に関する国内文献の検討
 ○松本 祥弘¹⁾, 藤田 千春²⁾
 1) 潤生園訪問看護ステーション, 2) 杏林大学 保健学部看護学科看護養護教育学専攻
- P16 新卒訪問看護師の育成に携わった指導者が感じた困難感
 ○松下 恭子, 多田 美由貴, 上白川 沙織, 岡久 玲子
 徳島大学大学院
- P17 小児看護専門看護師が行う訪問看護ステーションの小児利用者受入れに対する支援
 ○相墨 生恵
 岩手県立大学看護学部
- P18 「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」受講の取り組みと看護師の行動変容
 ○梅木 佳織, 横瀬 みどり, 川崎 和美, 和久田 絵美, 佐井 正江
 三菱京都病院
- P19 中学生に在宅医療と介護・福祉の専門職の役割を啓発するための活動報告
 ○鈴木 伸子¹⁾, 蒔田 寛子²⁾
 1) 新城市訪問看護ステーション, 2) 豊橋創造大学
- P20 訪問看護ステーションへ出向した急性期病院看護師の出向後看護実践変化
 ○雑賀 倫子, 深田 美香, 森田 理恵, 大草 智子
 鳥取大学医学部保健学科
- P21 訪問看護師をつなぐ「ぶくぶく会」～分かち合い, 互いを育む交流会～
 ○寺嶋 香里¹⁾, 浅井 咲希²⁾, 浅井 祐毅²⁾, 小塩 泰代³⁾, 佐々木 裕子⁴⁾
 1) ひとまちここ訪問看護ステーション, 2) 柘訪問看護ステーション, 3) 中部大学生命健康科学部保健看護学科,
 4) 愛知医科大学看護学部
- P22 教員が語る在宅看護の実践経験を活かしている在宅看護教育
 ○宮田 智子¹⁾, 佐々木 裕子²⁾, 篠田 かおる²⁾, 坂本 真理子²⁾
 1) 千秋病院デイケアセンター, 2) 愛知医科大学看護学部

- P23 教科書の記述にみる多職種による会議に関する教授の特徴と課題
○原賀 美紀
産業医科大学産業保健学部
- P24 地域・在宅療養生活支援論における医療機器演習に関する実践報告
○渡邊 理恵, 山下 寛子, 森永 朗子
久留米大学
- P25 壮年期に介護離職した男性介護者の介護体験
○高田 尚子¹⁾, 佐々木 裕子²⁾, 白井 裕子²⁾, 坂本 真理子²⁾, 高橋 佳子²⁾
1) 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター, 2) 愛知医科大学看護学部
- P26 一般病院に勤務する看護師と訪問看護師間における看護情報を扱う際の倫理的行動の違い
○坂本 仁美
長崎県立大学看護栄養学部看護学科
- P27 人工呼吸管理関連インシデントの発生状況に関する在宅と病院の質的比較
○原口 道子¹⁾, 笠原 康代²⁾, 中山 優季¹⁾, 松田 千春¹⁾, 板垣 ゆみ¹⁾, 小倉 朗子¹⁾
1) 公財) 東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット, 2) 東京医療保健大学

オンデマンドセミナー1

オンデマンド配信のみ

これからの未来

□講師

石田 昌宏（参議院議員）

オンデマンドセミナー2

オンデマンド配信のみ

在宅看護領域における国の動向について

□講師

友納 理緒（参議院議員（看護師，保健師，弁護士））

オンデマンドセミナー3

オンデマンド配信のみ

各ステージで考える認知症在宅ケア - 早期，急性期，BPSD，緩和ケア -

□講師

遠矢 純一郎（医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック）

オンデマンドセミナー4

オンデマンド配信のみ

訪問看護事業所の BCM〜ゲームを用いた研修と BCP の見直し〜

□講師

訪問看護 BCP 研究会

オンデマンドセミナー5

オンデマンド配信のみ

多様性を活かす精神科訪問看護 アセスメントの視点と基本姿勢

□講師

瀬戸屋 希（聖路加国際大学大学院 精神看護学）

オンデマンドセミナー6

オンデマンド配信のみ

多様性を活かす精神科訪問看護 統合失調症をもつ方への訪問：症状とのつきあいを考える

□講師

瀬戸屋 希（聖路加国際大学大学院 精神看護学）

オンデマンドセミナー7

オンデマンド配信のみ

多様性を活かす精神科訪問看護 パーソナリティ障害をもつ方への訪問

：利用者との関係性と役割を考える

□講師

瀬戸屋 希（聖路加国際大学大学院 精神看護学）

オンデマンドセミナー8

オンデマンド配信のみ

多文化・多世代の健康を地域で支える

□講師

堀 成美 (感染対策ラボ 代表)

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科, 統合臨床感染症学分野, 非常勤講師)

オンデマンドセミナー9

オンデマンド配信のみ

訪問診療における特定行為の導入の進め方～クリニックでの特定行為の導入の経験から～

□講師

橋 朋絵 (ゆみのハートクリニック)

オンデマンドセミナー10

オンデマンド配信のみ

テレナーシングによる看護実践, これからの期待と未来

□講師

富山 美由紀 (医療法人社団 ゆみの)

オンデマンドセミナー11

オンデマンド配信のみ

妊娠・出産・子育て期の家族へ寄り添う訪問看護

□講師

増田 綾 (エイトカラーステーション訪問看護ステーション)

オンデマンドセミナー12

オンデマンド配信のみ

看多機を知って輪を広げよう!～看多機の魅力と現状の課題について～

□講師

福田 裕子 (まちのナースステーション八千代 統括所長)

オンデマンドセミナー13

オンデマンド配信のみ

在宅看護 DX (デジタルトランスフォーメーション)

□講師

坪田 康佑 (国際医療福祉大学大学院博士課程)

オンデマンドセミナー14

オンデマンド配信のみ

訪問看護の事業承継・M&A

□講師

坪田 康佑 (国際医療福祉大学大学院博士課程)

オンデマンドセミナー15

オンデマンド配信のみ

エコーとの出会い，エコー技術の習得，エコーでの観察そしてケアへと繋げる

□講師

保坂 明美（株式会社トラントユイット訪問看護ステーションフレンズ）

オンデマンドセミナー16

オンデマンド配信のみ

訪問看護師が受ける利用者，家族からの暴力・ハラスメントに実態と対策

□講師

藤田 愛（医療法人社団慈恵会 北須磨訪問看護・リハビリセンター）

オンデマンドセミナー17

オンデマンド配信のみ

在宅におけるおひとり様支援の実態（東京都 23 区の事例）

□講師

高丸 慶（一般社団法人訪問看護支援協会 代表理事）

大西 統（NPO 法人都民シルバーサポート 専務理事）

雑誌

訪問看護と介護 のご案内

「在宅」の時代、暮らしを支える訪問看護師に、情報とパワーをお届けします。
ケアに関わる情報はもちろん、「気になるあの人／あのステーションがやっていること」
を皆さんに代わって編集室が取材。明日の仕事に活かせるヒントが見つかります。



● 隔月刊(奇数月)、年6冊

通常号定価：1,650円
(本体1,500円+税10%)

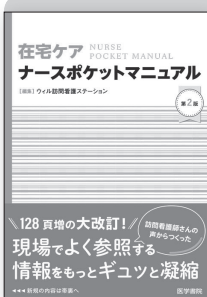
● 年間購読

冊子 9,636円(本体8,760円+税10%)
電子 9,636円(本体8,760円+税10%)
電子+冊子 12,936円(本体11,760円+税10%)

★電子版もございます／記事単位でのご購入も可能です



在宅の現場でよく参照する情報をこの1冊に“もっと”ギュッと凝縮!



在宅ケア NURSE POCKET MANUAL ナースポケットマニュアル 第2版

編集 ウィル訪問看護ステーション

● A6 2024年 頁392 定価：2,200円(本体2,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05333-4]



問題解決から希望実現へ。訪問看護実践を可視化する「希望実現モデル」誕生!



訪問看護師による在宅療養生活支援を可視化する 希望実現モデル

編著 川村佐和子

● A5 2024年 頁224 定価：3,300円(本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05337-2]



頻繁に参照する情報をその場ですぐに確認できる。コンパクトなのに即戦力となる一冊



ナース NURSE POCKET MANUAL ポケットマニュアル 第2版

編集 北里大学病院看護部

● A6変型 頁148 2024年 定価：1,650円(本体1,500円+税10%) [ISBN978-4-260-05437-9]



実はそこまで難しくない! エコーへの苦手意識を克服できる本



フィジカルアセスメントに活かす 看護のための はじめてのエコー

編集 藤井徹也／野々山孝志

● B5 頁164 2023年 定価：3,300円(本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05011-1]



◆研修運営をサポートする資料もご用意◆

学研訪問看護サポート

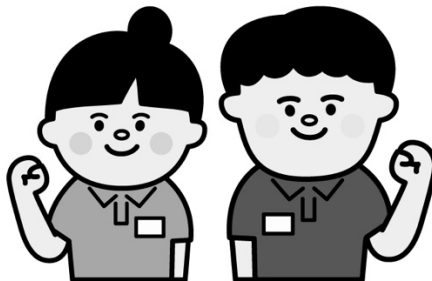
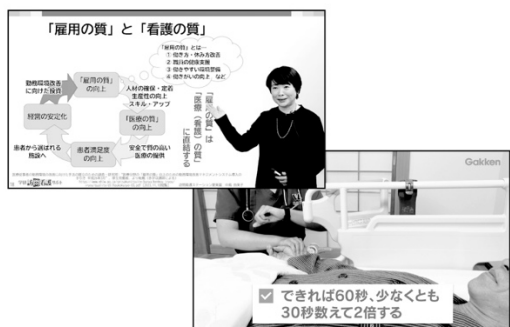
学研介護サポート

新コース
ステーション全体研修コース
登場

新コース
レクリエーションコース
登場

令和6年度
診療報酬改定対応

法定研修・必要研修
令和6年度 介護報酬改定対応



Gakken

日本在宅看護学会第14回学術集会 プログラム集

2024年（令和6年）11月16日 発行

発行責任者 日本在宅看護学会第14回学術集会

集会長 岩本 大希

編集・発行 日本在宅看護学会第14回学術集会事務局

WyL株式会社/ウィルグループ株式会社

〒132-0021 東京都江戸川区中央4-11-8アルカディア親水公園ビルB1F